

白鳥の里通信



野外活動

「いわき市考古資料館」



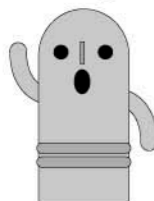
白鳥の里周囲に広がる田園風景、彼岸花が咲き忙しそくに稲刈りも始まっています。そんな景色を眺めながら、九月の第三週目は「いわき市考古資料館」へと出掛けてきました。

白鳥の里へ来る道すがら、送迎車の中から見えるいつもの施設ではありませんが、館内へ入る機会もなかなか無く「この施設には何かあるの？」との声も聞こえていました。今回訪れることができ、皆さんの知的好奇心にも火が付いたようでした。

館内では、鎌倉時代から江戸時代の展示物や「貝塚の世界」「土器の移り変わり」など年代を追って見ることが出来ますが、一万年以上前の氷河期より、いわきにも人々

が生活していたことを知ると、皆さん一応に驚かれておられました。古代人との背比べ、装いなども体験し「身長も同じ」「よく似合っている」などと話され、皆さんの笑顔もはじけていました。「一人では来れないので良かった」との声も頂き、それぞれ楽しいひと時を過ごされておられました。

白鳥の里では、日課の空き時間に「間違いない探し」や「パスル」「ぬり絵」などにも取り組んで頂き、脳の活性化へ繋がっています。今後も皆様の声を大切に、楽しく過ごして頂けるサービスを指して、職員一同お待ち致しております。



だんろのホット木もれ陽 だより

納涼祭

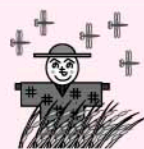


今年も暑い季節が終わり段々と涼しくなっているこの頃、8月の夏場にはそうした暑さも楽しんで頂くとうと納涼祭を行ないました。出店をイメージして射的と輪投げを利用者様には行なっていたり、得点を競いました。最後に花笠音頭を職員・スタッフ全員で踊り、おやつにはスイカを召し上げて楽しい時間を過ごしました。この日に向けて活動の時間には花笠の花を自分たちで作ったり、踊りに練習を重ねたりと期待も膨らみました。

ティータイム



9月になり、今年は雨が強い日が何度か続きました。お彼岸を向かえ、「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がある様に過ごしやすい季節になりました。シルバーウィークには、過ごしやすい天候に恵まれウッドデッキに出てティータイムを行ないました。心地よい風を感じたり季節の移り変わりを楽しんでいただける機会を設けることが出来ました。



今後、秋から冬になり、木もれ陽には暖炉が備え付けられています。寒くなると暖炉を使用して自然の暖かさを提供し季節の移り変わりを楽しんでいただける場を提供して参ります。



高砂荘だより

高砂荘ショートステイ

特別養護老人ホーム高砂荘

「音楽療法」



高砂荘では、毎月「特定非営利活動法人はちみつ」様による音楽療法を実施しています。昔懐かしい童謡をはちみつの方と一緒に歌って利用者様も真剣に歌っている姿がとても印象的です。また、その月の誕生日の方には一人ひとりにバースデーソングを全員で歌い、さらにはちみつ様よりメッセージカードが贈られ、受け取った利用者様はとても喜んでおられ中には涙を浮かべている方もいらっしゃいました。

毎回出来るだけ異なる利用者様に参加して頂き、利用者様一人ひとりの関わりを大切にしながら実施して頂いています。限られた時間ではありますが、歌を聴いたり歌ったりすることで普段の生活の中にもハリや刺激となるような時間が少しでも増えていけるよう、このような機会を今後も大切にしていきたいと思えます。



高砂荘

8月

★夏祭り★



デイサービスイベント

デイサービスセンター恒例の夏祭りを今年も開催しました。射的、輪投げ、綿あめのブースを設けて、利用者様・職員共に楽しい時間を過ごされました。

特にキャンディーを材料にした綿あめのブースは好評で、イチゴやミカンなどで美味しくアレンジされている様子が見られました。射的や輪投げのコーナーにもたくさんご利用者が集って頂き、笑い声が絶えない様子でした。普段、穏やかな利用者様も射的や輪投げのゲームでは体全体を使って、上手に的の目をつけて点数を競っていました。来年も職員と利用者様が楽しい時間を過ごして頂けるような行事を提供していきたいと思えます。



仁愛グループホームNEWS

仁愛グループホームでは、毎年季節にあったイベント、行事を開催しております。

7月は、七夕飾り付けを行いました。七夕当日まで、皆さんで折り紙の飾りを作成し、当日は笹の葉に願い事を書いた短冊を飾り付け、記念撮影を行いました。利用者様の短冊には「いつまでも健康に暮らせますように」「100歳まで元気に生きたい」などの願い事が書いてありました。また、毎日水やりをして自分たちで育てた胡瓜を収穫し、漬物を作り皆さんで美味しく頂きました。

8月は、毎年恒例のスイカ割を開催しました。棒を持ち、目隠しをせずにスイカを割る利用者様もいれば、目隠しをして周りの声を頼りに、慎重に棒を振り下ろす利用者様も見られ、個性が見られたスイカ割で皆さん楽しんで参加されておりました。

今年もあと僅かですが、利用者様の健康を第一に考え、毎日元気に生活が送れる様職員一人ひとりが努めて参りたいと思えます。



7月七夕



スイカ割 8月